



サイファイ研究所 ISHE 主催

<http://science-he.blogspot.jp/>

第5回 サイファイ・カフェSHE札幌

「最小の認識能をどこに見るのか」

講師：矢倉英隆

(サイファイ研究所 ISHE & フランソワ・ラブレール大学)

日時：2018年6月2日(土)、16:00~18:00

会場：札幌カフェ 5F スペース

札幌市北区北8条西5丁目2-3

電話：011-299-6967

<http://sapporocafe.co.jp/>



参加費：一般 1,000 円、学生 無料

飲み物を希望される方は各自ご持参ください

参加を希望される方は she.yakura@gmail.com までお知らせください

終了後、参加者の懇親を兼ねた会も予定しています

会の概要

この世界を理解するために、人類は古くから神話、宗教、日常の常識などを用いてきましたが、それとは一線を画す方法として科学を編み出しました。このカフェでは、長い科学の歴史の中で人類が何を考え、何を行ってきたのかについて毎回一つのテーマを選び、講師が私的なプリズムから見える世界を科学の成果に止まらず、歴史や哲学を絡めながら提示します。取り上げるテーマは、生命に関わるものが重要な位置を占めることになると思います。

今回は、認識を構成する最小要素は何なのかというミニマル・コグニションの問題を取り上げます。これは最初の認識能が進化のどのレベルで現れるのかという問題でもあります。この問いに対して、研究者や哲学者はいろいろな基準を出していますが、どの基準を採用すべきなのかというコンセンサスがないように見えます。認識能とその進化をどのように考えるべきなのかについて講師が概説した後、参加された皆様に議論を展開していただき、懇親会においても継続されることを願っております。このテーマに興味をお持ちの方の参加をお待ちしております。

講師の紹介



講師：矢倉 英隆

サイファイ研究所 ISHE 代表 &
フランソワ・ラブレー大学客員研究員

HP: フランスの哲学的生活
<http://hidetakayakura.blogspot.com/>

2007年：東京都医学研究機構（現東京都医学総合研究所）で免疫学の研究生活を終える

2007年～2016年：パリ大学大学院で科学と医学の哲学を学ぶ（哲学博士：ソルボンヌ大学パリ・シテ）

2016年：フランソワ・ラブレー大学で科学と医学の哲学研究を始める

2011年：科学から人間を考える試みとして[サイファイ・カフェ SHE](#)を始める

2012年：雑誌「医学のあゆみ」にエッセイ『[パリから見えるこの世界](#)』の連載を始める

2013年：[サイファイ研究所 ISHE](#)を設立

2014年：生き方としての哲学を語り合う[カフェフィロ PAWL](#)を始める

2016年：[サイファイ・カフェ SHE 札幌](#)を始める

2017年：科学者が科学を文化にする[サイファイ・フォーラム FPSS](#)、フランス語のテキストを読み哲学する[ベルクソン・カフェ](#)、パリで科学と哲学と生き方を語る[パリカフェ](#)始める
